

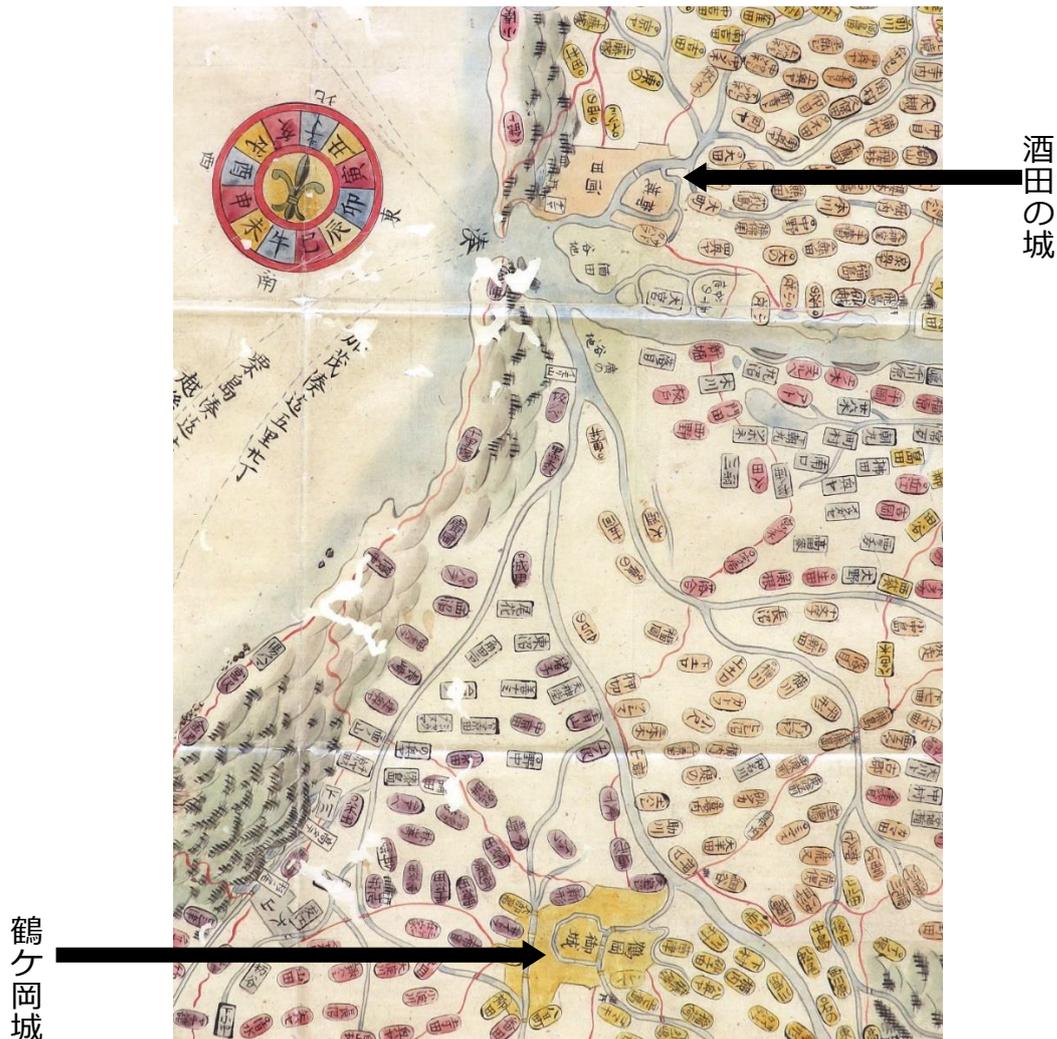


酒田の歴史クイズ

酒田の歴史に関する次の問題に挑戦してみてください。

第1問

江戸時代、酒田は庄内藩という藩の一部でした。1つの藩に1つの城をおくのが原則だったこの時代、庄内藩は特別に2つの城をおくことを許されていましたが、その城とは、鶴岡の鶴ヶ岡城ともう1つはどれでしょう？ 次の①～④の中からえらんでください。



▲「酒田港絵図（庄内三郡絵図）」部分／江戸期

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① さげがおかじょう
酒ヶ岡城 | ② かめがさきじょう
亀ヶ崎城 |
| ③ まつやまじょう
松山城 | ④ ねずがせきじょう
鼠ヶ関城 |

第2問



上の写真は、大正時代の山居倉庫で撮影されたものです。米俵を背負った女の人たちが働いていますね。ではこの米俵は、1つ約何k gでしょうか？次の中からえらんでください。

① 30 k g

(灯油ポリタンク2つ分)



② 40 k g

(平均的な小学1年生の子ども2人分)



③ 50 k g (8段のとび箱1組分)



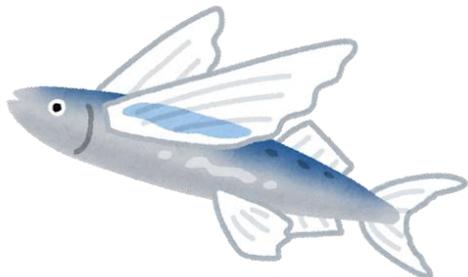
④ 60 k g (30 k gの米2袋分)



第3問

江戸時代、年貢は原則的に米で納めることになっていましたが、飛島では米のかわりにあるものを年貢として納めていました。それは次のうちどれでしょう？

① トビウオ



② こんぶ



③ イカ



酒田市農林水産課提供

④ トビシマカンゾウ



酒田市交流観光課提供

第4問



上の写真は、昭和51年10月29日に発生し、1,774軒もの家や店が焼失、3,300人の市民が罹災した”酒田大火”を撮影したものです。この酒田大火からの復興の時に、このような災いが二度と起こらないよう祈りをこめて作られたものといえれば次のうちどれでしょう？

① ひよりの山と六角灯台



② 酒田まつりの大獅子



③ ひえ日枝神社(写真は下日枝神社)



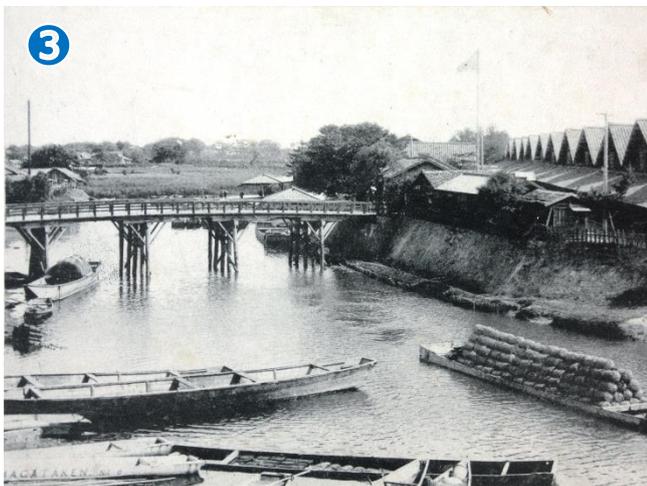
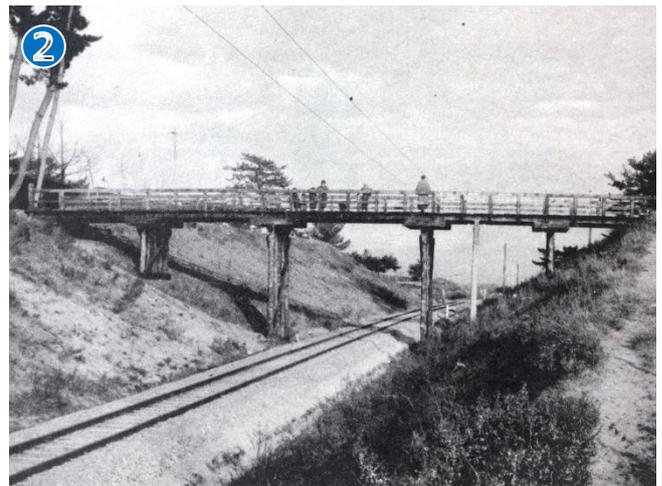
④ もしえのん・あののん



第5問



上の写真は最上川に架かる橋・両羽橋（平成4年撮影）です。次のうち昔の両羽橋を写した写真はどれでしょう。（いずれも酒田で撮影された写真です。）



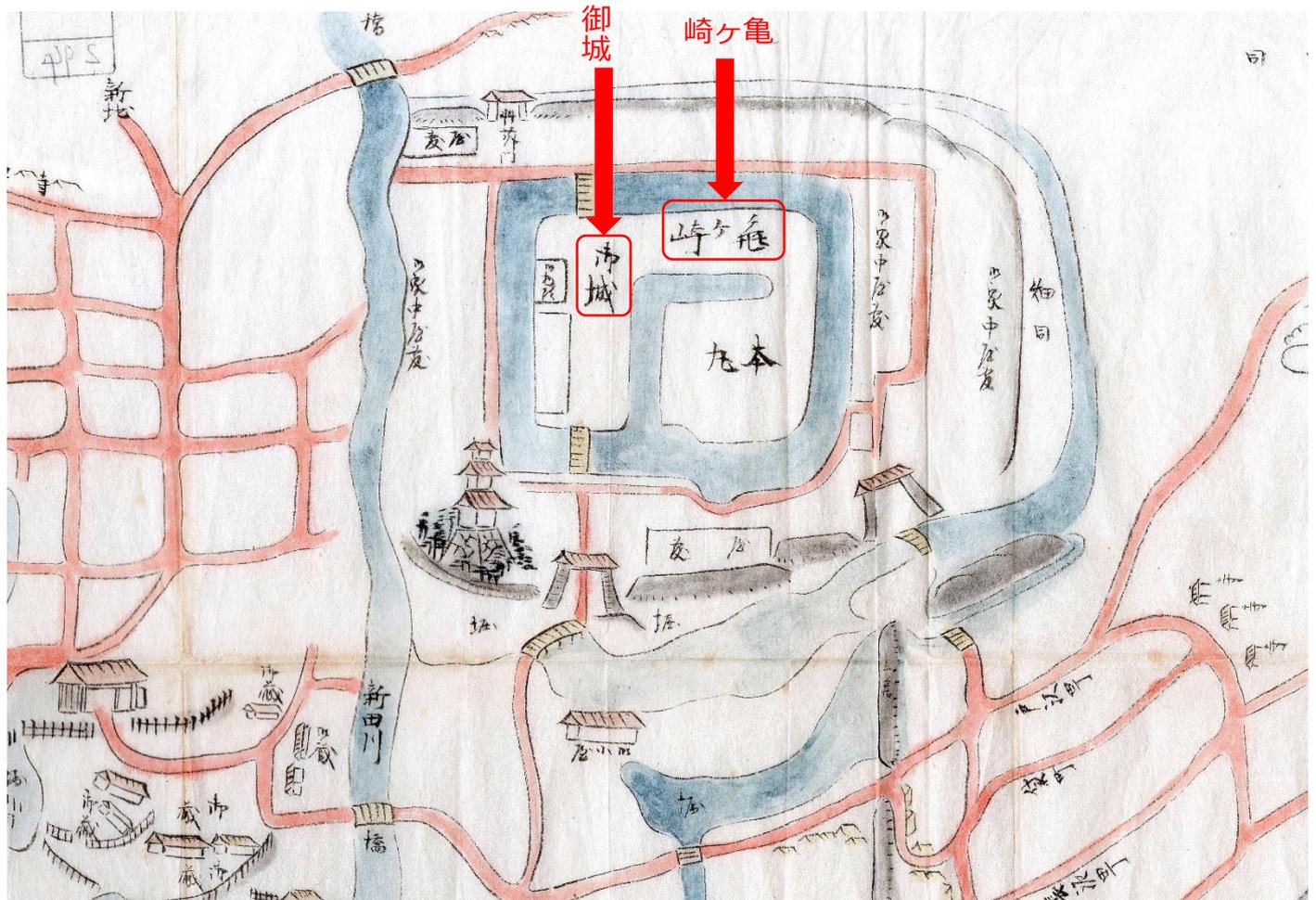
★答えは次のページ

答え

第1問 ② 亀ヶ崎城

酒田の浜で大きな亀が捕まったので、これをおめでたいしるしだとして1601年、もともとあった酒田の城「東禅寺城」の名前を「亀ヶ崎城」に、鶴岡の城「大宝寺城」の名前を亀に対して「鶴ヶ岡城」に改めたと言われています。亀ヶ崎城があった場所は酒田東高校になっています。

下の図は江戸時代に描かれた亀ヶ崎城の図です。「亀ヶ崎」「御城」という字が見えます。



▲亀ヶ崎城周辺絵図／江戸後期

第2問 ④ 60kg

終戦後に労働基準法が施行されるまでの間、山居倉庫で重たい米俵を運んだのは「女丁持ち」という職業の女の人たちでした。1つ60kgの米俵を運ぶ重労働ですが、限られた人しかやることのできない誇りある職業だったようです。



第3問 ③イカ

今もイカの名産地として知られる飛島では、年貢をイカで納めていました。イカ^{りょう}漁は夏に行われ、
毎晩お年寄り^{まいばん としよ}と子どもを除いた一家全員でイカを釣^つり、獲^とったイカは天日干^{てんびほ}しにし、スルメにして
から年貢として納めました。

下の図は、江戸時代（天保11年）の飛島の様子を描いたもので、イカを網^{あみ}の上にならべて天日干しにしている場面です。



「飛島図画」佐藤梅宇作 複写本/明治25年

第4問 ②酒田まつりの大獅子

上・下日枝神社は、酒田のうぶすなの神として400年以上前から^{しんこう}信仰を集める神社です。酒田大火が起こる前から、この日枝神社の獅子頭^{ししがしら}をモデルにした赤と黒の獅子は、魔よけの品として親しまれていました。大火後は、この獅子頭が酒田にとっての魔よけになるよう日枝神社に祈って大きな獅子を作り、酒田まつりのシンボルにしました。この大獅子たちは市役所敷地内と中町モールに^{せっち}設置され、今日も酒田の街を見守っています。

第5問 ④

④の写真は明治27年に造られた最初の両羽橋です。その後架け替えのため、昭和11年ごろに2代目両羽橋が造られました。現在の両羽橋は平成3年に完成した3代目です。ちなみに①は新井田川にかかる新井田橋（通称めがね橋）、②は線路をまたぐ橋である鶴亀橋（現在の光ヶ丘橋）、③は新井田川にかかる山居橋です。